

# ～ ヨーロッパ最新情報 2023年3月 ～

現地にて感染の疑いがある場合や陽性と診断された場合、及び濃厚接触者の定義はリンクよりご参照ください。

[新型コロナウイルス感染症 現地対応マニュアル 2023年3月版](#)

## 日本からの入国規制

ヨーロッパ主要国では日本からの入国制限はすべて廃止されています。

## 感染症危険情報レベル

2022年10月に感染症危険情報のレベルの引き下げが行われ、全世界一律レベル1となっています。

## 2023年3月時点の日本政府による水際対策

中国（香港・マカオを除く）以外の全ての国からの帰国者・入国者：

- ・入国時検査不要、入国後の自宅又は宿泊施設での待機不要、公共交通機関不使用等の制限なし
- ・外国人の入国について、ERFSの申請不要、個人旅行解禁、査証免除措置の適用再開、入国者総数の上限撤廃
- ・ワクチンの接種証明書（3回）又は出国前72時間以内に受けた検査の陰性証明書のいずれかの提出要

※記載の情報は現地事情により、予告なく変更される場合があります。

情報提供:ミキ・ツーリスト

# ヨーロッパ最新情報 2023年3月時点

国名	トピックス
イギリス	タワーブリッジのフォトスポットとして人気のある <b>ロンドンブリッジ</b> ですが、新たな規制によって月曜日から金曜日の07:00～19:00の間はコーチでのアクセスができなくなりました。これにより、平日にグループでの立ち寄りとは不可となります。
オランダ	2023年2月10日から6月4日まで <b>アムステルダム</b> の <b>国立美術館</b> で開催されるフェルメール展ですが、個人向けチケットは完売しました。グループ枠のチケットも入手困難となることが予想されます。
イギリス	現時点での、国王陛下戴冠式当日のクローズ情報です（急遽変更となる場合があります）。 2023年5月6日（土）のクローズ： <b>ロンドン塔</b> 、 <b>ハンプトン・コート宮殿</b> (庭園を除く)、 <b>キュー宮殿</b> 、 <b>ケンジントン宮殿</b> 、 <b>バンケティング・ハウス</b>
ドイツ	<b>ノイシュバンシュタイン城</b> は現在、サマーシーズン(2023年4月1日～10月15日)の予約受付を開始しています。 また2024年春までの予定で、城内では大規模な改修を行っています。これにより、ノイシュバンシュタインの寝室、化粧室、居間、そして洞窟は、2023年夏まで一般公開されない予定です。
スペイン	<b>モンセラットの黒いマリア像</b> は昨年8月より有料となっています。この3月からはさらに入場が規制され、事前予約がない場合、空き状況によっては当日券が購入できないこともありますのでご注意ください。
フランス・モナコ	両国では、2国間を移動する <b>自家用車やワゴン</b> 、 <b>タクシー</b> に対して新しい法律を施行しました。これにより、相手国でレンタルされた自家用車やワゴン、タクシーは、ホテル送迎の目的に限り入国することが出来ます（コーチは対象外）。

# ヨーロッパ出張レポート & 2月の風景

## スペイン



### コルドバ：メスキータ

見どころが多く、夏は観光客で賑わうため全部を回り切れないほどだそうです。1時間の入場観光で、7割は見学出来ました。

2月下旬、弊社主催のアンダルシアFAMを開催しました。渡航中は晴天率に恵まれ、またオフシーズンで入場箇所の混雑もなく、スムーズに観光できました。  
下期の観光エリアとして、おすすめです。今回訪れた内、コルドバ、グラナダ、セビリヤ近郊をご紹介します。



### グラナダ：アルハンブラ宮殿の中庭

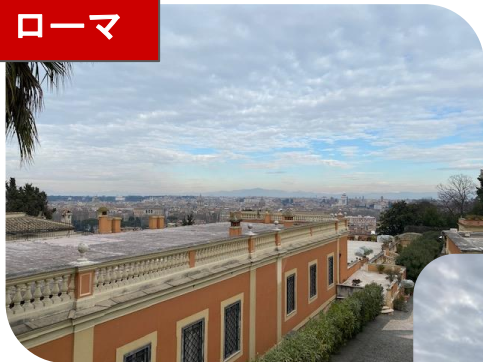
ガイド曰く、この写真をグループで撮影すると20分はかかるため、説明だけにして次へ案内するとか。



### ！新素材！コリア・デル・リオ： 支倉常長(はせくら つねなが)像

セビージャから車で40分。コリア・デル・リオにある、支倉常長の銅像。スペイン国籍は苗字が2つ必要で代々引き継がれるが、「ハボン(日本)」の苗字をもつ方が700名ほどおられるそう。親日の街で、店の名前がカタカナで表記されています。

## ローマ



上：ジャンニコロの丘よりローマの街下  
下：アクア パオラの噴水

## プラハ



ストラホフ修道院図書館  
写真許可証が不要に

## リスボン



サンタ・ジュスタの  
エレベーター前の行列

## ブダペスト



週末、ブダペストの廃屋バー

## ウィーン



シュヴェヒャート空港の様子

## フランス



左：ピスタチオエクレアと春色ケーキ  
右：ヴァンドーム広場



# マスク着用義務 / PCR検査情報① 2023年3月時点

※各国の規制解除によりPCR検査の需要が減ってきており、今後検査機関の減少が予想されます。それに伴って急遽手配情報も変わる場合があります。ご注意ください。**祝日によっては特別休業となる箇所もあります**のでご注意ください。

国名	マスク着用義務	PCR検査に関する注意事項
アイルランド	マスク着用の法的義務は解除されていますが、公共交通機関や医療機関などでは、マスク着用推奨。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：ラボのリンクに入り、ご自身でご確認いただけます。ダブリン市内の検査場は閉鎖されたため、現時点での最寄り是一片道1時間の郊外に位置する検査場となります。
イギリス	マスク着用義務はありません。ただし閉鎖された場所や混雑した場所にいる時、知らない人と会う時には、フェイスカバリングの使用が推奨されています。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可。お客様のメールアドレスに検査結果が通知されます。
イタリア	マスクの着用義務は解除されました。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可。主要都市（ミラノ、ヴェニス、フィレンツェ、ローマ）にて契約あり。日曜・祭日の検査は不可（土曜は時間が限られています）。検査結果は通常48時間で入手、追加料金にて当日受け取りが可能な場合もあり。
オーストリア	病院・老人ホームなどの医療施設での着用義務を除き、マスク着用義務はありません。ただし、ウィーン州のみ公共交通機関・薬局での着用義務が継続しています。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可。検査結果は2時間から24時間以内に送付。第三者に結果を送信する場合、委任状が必要です。
オランダ	公共交通機関のマスク着用義務は撤廃されていますが、飛行機内では引き続き着用が推奨されています。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可。弊社が予約代行を行っている検査機関は、結果が早い上に比較的臨機応変な対応が可能です。

# マスク着用義務 / PCR検査情報② 2023年3月時点

国名	マスク着用義務	PCR検査に関する注意事項
ギリシャ	<p>2月27日まで以下の措置が延長されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄道、市内バス、トラム、タクシー、フェリー（デッキを除く）、地下鉄などの交通機関内（駅内等含む）での二重マスク（サージカル及び布製）または高規格マスク（FFP2、N95）の着用義務</li> <li>●遺跡、博物館、飲食店での着用義務はないが、施設側の判断によって、感染対策が講じられる場合がある。</li> </ul>	<p>手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可。12時間で結果が出る場合もありますが、結果判明までは24時間を見ておいてください。英語が通じる病院も多いですが、念のためにアシスタント手配を勧めています。</p>
スイス	<p>マスク着用義務はありません。（州によって、医療施設ではマスク着用義務あり）</p>	<p>手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可。テストはフライトの前日に受けることをお勧めしています。ジュネーブではグループの場合、ホテルでの実施でリクエストベースとなります。</p>
スウェーデン	<p>マスク着用義務は撤廃されています。</p>	<p>手配可否：可、立て替え：不可、検査結果：メール受け取り可。市内で日本帰国用フォームの対応可能な所はありますが、需要減少に伴って状況が流動的です。現在は週末営業・当日中に結果判明プランがあります。</p>
スペイン	<p>医療機関・薬局を除き、屋外・屋内ともにマスク着用義務はありません。</p>	<p>手配可否：可、立て替え：可、検査結果：検査場受け取り。結果判明まで24時間ほどかかります（2、3時間で結果の出るエクスプレスは、すべての都市で対応可能ではありません）。記載事項の不備も散見されるため、修正の時間を考慮して、余裕をもったスケジュールをしてください。また土日対応できる検査場はかなり少なくなっています。</p>

# マスク着用義務 / PCR検査情報③ 2023年3月時点

国名	マスク着用義務	PCR検査に関する注意事項
チェコ	マスク着用義務はありませんが、病院や老人ホーム、社会福祉施設では独自に規定するところも出ています。保健省も公共交通機関乗車時の着用を強く推奨しています。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可。空港の検査場は日本指定フォーム対応ですが、現地払い・予約不可。検査結果が出るのは採取から3～48時間が一般的で、多くは日曜・祝日休みです。
デンマーク	規制は全て解除となっておりますが、病院やケア施設への訪問時には引き続きマスク着用が求められることがあります。	手配可能：可、立て替え：可、検査結果：検査場受取り。都市・クリニックによっては申込・手続きが全てデジタル化されており、お客様自身がログインして個人情報を記入、当日のチェックイン、デジタル上での検査結果の確認が必要です。
ドイツ	医療機関及び介護施設を除き、マスクの着用義務はありません。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可。グループ予約に対応している検査施設は、少ない状況です。
ノルウェー	マスク着用義務はありません。持病がある等の理由でマスクをしている人も稀に見られますが、大多数の市民はマスクなしで生活しています。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可。週末対応や短時間で結果の出るプランなど比較的揃っていますが、需要減少に伴って流動的です。
ハンガリー	マスク着用義務は撤廃されています。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール受け取り可。検査結果が出るまでに12～24時間見てください。

# マスク着用義務 / PCR検査情報④ 2023年3月時点

国名	マスク着用義務	PCR検査に関する注意事項
フィンランド	マスクの着用義務はありませんが、機内においては渡航先・出発国が要求する場合に着用となる場合があります。	手配可否：可、立て替え：基本は現地本人払い、検査結果：メールにて受取り。日本帰国用フォーマットの記入に関しては、同系列のラボであっても取扱いが異なる為、確認が必要です。検査場によっては予約時カード決済もあり。
フランス	マスク着用が必須な場所はありませんが、公共交通機関では以前としてマスクの着用が推奨されています。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：パリ市内はラボのリンク上でお客様自身が確認。地方都市は検査場受け取り。日曜・祝日は多くのラボが休みのため、手配不可となります。
ベルギー	病院、医務室（医師のいる場所）及び薬局を除き、マスク着用義務はなくなりましたが、人が多く行き交う場所ではマスク着用が推奨されています。	手配可否：可、立て替え：基本は現地払い（現金）、検査結果：検査場受け取り。日本語対応&グループ受付可能な検査機関は、現地払いのみ。立替払いを希望の場合は、アシスタントを手配して支払を委託する方法になります。
ポルトガル	医療機関・施設、高齢者・要介護者・障害者の支援施設及び当該者の自宅支援における場合を除き、着用義務は撤廃されました。	手配可否：可、立て替え：可、検査結果：メール/用紙による受け取り可。日、祝祭日は殆どの検査機関が閉鎖。唯一受検可能な検査場は午前みの営業です。